

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度	
事業番号	15	事業名	国際交流協会支援事業		担当課		観光商工課	
					予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-10-2 国際交流協会支援事業	
			(中事業名) 国際交流協会支援事業		決算書ページ		71	~
I 基本情報	総合計画	基本目標	1 「やってみたい」でつながるまち					
		政策	2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり					
		施策	(3) 誰もが活躍できる地域づくり					
	その他	開始年度	2021年度					
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可
		根拠法令等						
関連計画		第2次長久手市多文化共生推進プラン、長久手市国際交流協会運営事業費補助金交付要綱						
事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)	アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）				
		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わらるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他 対象の数： 約60,000人		国際交流や多文化共生について、関心や知識を深める (成果指標名)		国際交流や多文化共生への理解が生まれ、日本人・外国人双方にとって住みよいまちになる		
		【事業内容】 多文化共生の地域づくりや国際理解・交流の促進に取り組むため、長久手市国際交流協会への支援と連携を行います。		国際交流協会事業参加者総数		大事業共通		

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名	単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1 【アクションプラン指標】 国際交流協会が実施する多文化共生推進事業への参加者数	人	基準値	7,830	目標値	6,400	6,500	6,600	6,700	6,800
				目標値	6,800	実績	5,924				
		2 【その他指標】 運営に携わる市民の人数	人	基準値	-	目標値	2,000	2,050	2,100	2,150	2,200
				目標値	-	実績	2,870				
		3 【その他指標】 国際交流協会実施事業数	事業	基準値	-	目標値	24	24	26	26	28
				目標値	-	実績	25				
		4		基準値		目標値					
				目標値		実績					
		事業開始の背景	平成4年度にベルギー王国ワーテルロー市との姉妹都市友好提携締結による青少年訪問団等を通じての交流や、平成6年度に設立した長久手市国際交流協会の活動を支援するため、補助金を交付した。近年は、在住外国人数の増加により、多文化共生の必要性が高まってきたため、令和2年度に長久手市多文化共生プランを策定し、多文化共生を推進する施策に取り組んでいる。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由									
		R6	多文化共生推進事業として、日本語教室、日本語ボランティアスキルアップ講座、防災サバイバルフェス、日本語教育支援、NIA集いの広場、ながくて留学生交流会、外国人相談を実施した。R5年度まで毎週実施していた「NIA集いの広場」の開催が月2回程度となり、ボランティア及び参加者の述べ人数が減少したことから、活動指標の実績値が見込値を下回っている。		R7						
		R8			R9						

<b>III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）</b> <b>成果指標（CHECK）</b>	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
	国際交流協会事業参加者総数		人	R4 年度	▶	R5 年度	▶	【現状】	R6 年度	▶	R7 年度	▶	R8 年度	
				10,040		10,767			9,922		10,100		10,300	
	成果達成状況								指標目標値の根拠					
	<p><b>D</b> A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている</p>								<p>将来、日本人・外国人双方にとって住みよいまちになることを目指し、国際交流協会の多文化共生推進事業参加者数100名及び他事業100名の200名ずつ各年度増加するよう設定。</p> <p>R5年度まで毎週実施していた「NIA集いの広場」の開催が月2回程度の開催となり、ボランティア及び参加者数が減少している。</p>					
	評価の理由、分析													
	今後の方向性				今後の方向性の理由									
	<p><b>B</b> A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止</p>				国際交流協会への支援を継続すると共に市も多文化共生社会事業を推進することで、第2次長久手市多文化共生推進プランの事業を引き続き展開する。									
	<b>改善ポイント</b>													
(成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)														
<b>加える変化（ACTION）</b>	見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容										見直し可能年度
	1	国際交流協会支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	財源確保の観点で、国際交流事業について、国際交流や多文化共生事業に活用できる国や県の補助金の調査を行う。										
	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
	3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											

